



# マイナンバー制度

## (社会保障・税番号制度)



マイナンバー  
広報キャラクター  
「マイナちゃん」

### 個人番号カードには、税や年金などの情報は 入っていないので安心です。

#### 個人番号カードとは

個人番号カード(顔写真付き身分証明書)は、通知カードと一緒に送付されてくる交付申請書を返信用封筒で郵送することにより、平成28年1月以降、無料で取得することができます。

カードの受け取りは、ご本人が三好市役所本庁の窓口に出向き、本人確認を行った上で、交付することになります。ただし、病气、身体の障がい、その他やむを得ない理由によりご本人が窓口に来ることが困難な場合のみ、代理人に委任できます。

※個人番号カードの有効期限は、発行日から申請者の10回目の誕生日までです。(ただし、20歳未満の方は容姿の変化が大きいため、申請者の5回目の誕生日まで)  
※電子証明書(署名用・利用者証明用)は発行日から5回目の誕生日までです。

#### 個人番号カードのメリット

□ 身分証明書としての利用  
運転免許証などを持つてない方には、顔写真付き身分証明書となるので便利です。

□ コンビニで各種証明の取得が可能  
市役所閉庁時にも、6時30分〜23時までの間コンビニで、

住民票(本人と同一世帯員のみ)、印鑑登録証明書(本人のみ)、戸籍の附票(本人と同籍者の最新のもの)、戸籍全部(個人)事項証明書(本人と同籍者の最新のもの)が取得できますので大変便利です。

※個人番号について、電話で問い合わせることはありません。国や市町村職員などをかたる不審な電話には、くれぐれもご注意ください。

個人番号カード (みほん)

(表面) (裏面)

本庁および支所の窓口へ申請書をご持参いただくと、希望者には顔写真撮影の無料サービスをいたします。(三好市に住民票のある人に限ります)

## マイナちゃんのナニなに? マイナンバー

第3弾となる今回は、マイナンバー制度についてQ & A方式で解説します。



### 問

ねえねえ、マイナちゃん、いつからマイナンバーを使うの?

### 答

2016年1月から社会保障、税、災害対策の行政手続きでマイナンバーが必要になるよ。

【解説】マイナンバーは、社会保障、税、災害対策分野の中で利用します。例えば、医療保険の給付請求や確定申告などの手続きを行う際にマイナンバーが必要になります。

### 問

個人番号カードも届けられるの?

### 答

個人番号カードは、2016年1月から交付されるんだけど申請しないと交

付されないよ!

【解説】個人番号カードは、通知カードと共に送付される申請書を郵送するなどして、

2016年1月以降に交付を受け取ることが出来ます。個人番号カードの交付を受け取る時は、通知カードを市区町村に返納しなければなりません。

### 問

そもそも個人番号カードってどんなものなの?

### 答

身分証明やさまざまなサービスに利用できるカードだよ。

【解説】個人番号カードは、住民基本台帳カードと同様に、ICチップのついたカードを予定

しており、表面に氏名、住所、

### 問

私の個人情報のやり取りの記録はどこで確認できるの?

### 答

2017年1月からマイナポータルでインターネットから確認できるようになるよ。

【解説】マイナポータル(情報提供等記録開示システム)とは、自分の個人情報をいつ、どこでやりとりしたのか確認できるほか、行政機関が保有する自

### 問

マイナンバーが通知されるのは日本国籍の人だけ?

### 答

日本国籍の方も外国籍の方も、住所を有する方にはすべて通知されるよ。

【解説】マイナンバーは住民票コードを基礎にして作成されるため、住民票を有する全ての方が対象です。したがって、中長期在留者や特別永住者などの外国人も含まれます。

### 【お問い合わせ先】

三好市役所市民課  
電話 72-7609  
全国共通ナビダイヤル(無料)  
電話 0120-950178



## 新庁舎計画づくり ワークショップに 参加していただける方を募集します

現在三好市では、新庁舎の整備に向けて、その骨格となる基本計画の策定に着手しています。

新庁舎は、行政サービスの提供のほか、市民交流・協働の拠点としての利用も想定していることから、計画策定にあたって、実際に利用していただく市民の皆さまから幅広くご意見を伺いたいと考え、このたびワークショップを企画することとなりました。

### 《募集要領》

**募集人数**▼30人程度  
**募集期間**▼11月10日(火)以降、ワークショップ終了まで  
随時受け付け  
**応募資格**▼11月10日現在、満15歳以上で、市内に在住も

くは在勤・在学し、新庁舎の整備について関心のある方。ただし、未成年の方は保護者同伴の上、ご参加ください。  
**実施期間**▼12月から平成28年2月頃まで(3回程度の開催を予定)

**応募方法**▼応募先まで電話または電子メールにてご連絡ください。その際、氏名・住所・年齢・職業・電話番号と参加可能な時間帯を次の区分によりお知らせください。  
※参加可能時間帯：平日昼間、平日夜間、休日昼間、休日夜間

**選考方法**▼先着順(ただし、応募資格の確認のためにお時間をいただく場合があります)  
**結果通知**▼折り返し、電話または電子メールにて通知します。

**【応募・お問い合わせ先】**  
〒778-8501  
三好市池田町シンマチ  
1500番地2  
三好市役所総務部管財課  
**【電話】**72-7635  
**【Eメール】**kanzai@city.tokushima-niyoshi.jp

# シリーズ 地方創生 NO. 04

## 「三好市人口ビジョン」と「三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

三好市では、人口減少対策と地域の特性を生かしたまちづくりを実施するため「三好市人口ビジョン」と「三好市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に取り組んでいます。今回は、「総合戦略の方針」について解説します。

### 総合戦略の将来像 笑顔創生・三好

#### 【戦略目標1】働く場を創る三好

- ①魅力ある雇用の場の創出
- ②産業の担い手育成支援
- ③地域資源を生かしたモノづくりの推進

#### 【戦略目標2】ひとを呼びこむ三好

- ①移住・定住の促進
- ②地域ブランドづくり

#### 【戦略目標3】結婚・出産・子育ての希望を叶える三好

- ①結婚希望者への支援
- ②安心して出産・子育てができる環境整備
- ③安心して働き続けられる職場の環境整備
- ④新しい時代に「生きる力」を育む教育

#### 【戦略目標4】安心な暮らしを守り、地域をつなぐ三好

- ①集落ビジョンの策定
- ②安心して暮らせる元気な地域づくり
- ③地域づくりをサポートする人材の育成
- ④地域をつなぐシステムづくり

- 【戦略目標5】未来に「ツケ」を残さない三好
- ①公共施設データベースの構築
- ②公共施設等総合管理計画に基づく個別計画の策定
- ③公共施設の長寿命化の推進

## 連載 地域おこし協力隊活動報告 ④7

### 旅するパンプキンプロジェクト活動報告

渡邊 みどり

私の赴任当初からのテーマは、子どもたちに体験の機会を創出すること。3年目のこの春より実施した2つの活動をご紹介します。まずは、6月から3か月にわたって取り組んだ「英語絵本作りプロジェクト」。市内のみならず、美馬市や阿波市から20名の子どもたちが参加してくれました。三野町で教壇に立つていらつしやったこともある絵本作家くすのきしげのり先生を始め、イラストレーター羽尻利門先生、池田中学校ALTのアヤナ先生など強力な助っ人を得て、お話・挿絵・英訳そして製本まで子どもたちが自らの手で行いました。徳島が誇る阿波踊りや吉野川・うだつの町



▲子どもたちが作った英語絵本



▲ハッピーハロウィンパーティーでお菓子をもらう子どもたち

並み、中にはサギソウや児啼翁といった三好市ならではの作品もあります。現在、池田と井川の図書館で公開中です。子どもたちの力作をぜひご覧ください。

そして、10月10日に開催した「うだつのまちのハッピーハロウィンパーティー」。100名を超える子どもたちが参加してくれ、本物のカボチャを使ったランタン作りやうだつ通りでお菓子集めなど、ハロウィンならではの遊びをしました。お菓子の配布をお願いしていたお宅の方が仮装を待っていてくれたりと、さらに盛り上げていただきました。どちらのイベントもお力添えをいただいた皆さま、本当にありがとうございました！

### お問い合わせ先・ご意見先

三好市役所地方創生推進課  
電話 72-7607

好市まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性について話し合いが行われました。

委員からは、「三好市の特徴を生かして、コア(中核)な部分に絞ったブランディング(価値を高めること)が必要」「若者定住など住宅政策により転出者の抑制の取り組みを実施」「Uターン・孫ターン政策には、徳島県人会の三好市出身者などと連携」「若年夫婦が定住するためには、安心して出産や生活が出来る環境整備が必要」などの意見や提言がありました。

なお、三

好市のホームページで第2回協議会の資料を公開していますので、ご覧ください。





入場  
無料

### 市民大学講座・人権教育講演会

【日時】12月5日(土)  
13時30分～15時

【場所】三好市池田総合体育館

【演題】可能性への挑戦  
～決してあきらめない～

【講師】舞の海秀平さん  
【プロフィール】



1968年青森県生まれ。日本大学相撲部で活躍。山形県の高松教師に内定していたが、夢であった大相撲への道をかなえるため、周囲の反対を押し切り大相撲入りを決意。しかし、基準の身長に足りず、一度目の新弟子検査に不合格。頭にシリコンを入れ、壮絶な1か月を過ごし、2度目の検査で合格し、1990年5月出羽海部屋に入門。同月、幕下付け出しで初土俵を踏む。翌年(四股名・舞の海)十両に昇進し、9月に幕内入りを果たす。角界最小の体で「猫だまし」「八艘飛び」などの技でファンを沸かせ「技のデパート」の異名をとる。1999年11月の引退までに技能賞を5回受賞。引退後、NHK大相撲解説者のほか、テレビ、ラジオ、講演など幅広く活躍。現在、近畿大学経営学部客員教授。※駐車場は、船井電機跡地となっております。

【お問い合わせ先】三好市教育委員会生涯学習・スポーツ振興課  
(☎72-3900)

### 三好市学校給食用物資納入業者登録のお願い

子どもたちに安心・安全な給食を



三好市では、学校給食衛生管理基準に基づいた、給食食材に係る物資納入業者の登録申請を受け付けます。給食用物資を納入しようと考えておられる業者の方は、登録説明会にご参加の上、申請手続きを行ってください。

※登録についての説明会を行いますので、必ずご参加ください。

【日時】11月27日(金)19時～

【場所】三好市池田総合体育館2階会議室

【登録の内容】平成28年度の市立幼小中学校に使用する学校給食用物資納入業者としての登録

【主な資格要件】

- ①三好市に事業所を有すること。または徳島県内に本店支店および営業所または製造加工の施設を有し、迅速に連絡調整および配送ができること。
- ②学校給食の趣旨を理解し、「学校給食衛生管理基準」に基づき、三好市学校給食の運営に協力すること。
- ③営業経歴、経営状況が良好であり引き続き2年以上その事業を営んでいること。
- ④市税が完納されていること。
- ⑤固定された営業施設を有し、常時営業を行い、販売実績をあげていること。
- ⑥品質管理が十分に行われ、生産から納入まで食品の安全と衛生管理が徹底していること。
- ⑦仕入れおよび製造加工能力が十分あり、指定した期日・時刻・場所に納入できる配送能力を有していること。

【申請期限】平成28年1月13日(水)17時まで

【申し込み・お問い合わせ先】〒778-0001 三好市池田町ウエノ2928番地1 池田学校給食センター  
(☎72-0738)

【申請用紙など】※三好市内の給食センターおよび共同調理場に設置しております。現在、お取り引きのある物資納入業者様には、個別に送付しますが、行き違いなどで届かない場合はお尋ねください。

※三好市教育委員会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

### 「超小型モビリティ」実証実験を行います

三好市内を走行エリアとした「超小型モビリティ」(注)を使った実証実験(試験走行)を実施することとなりました。なお、試験走行時には、安全運転講習を受けたドライバーが乗車し、事故の無いよう細心の注意をもって走行を行うこととしておりますので、皆さま方の実証実験へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【期間】11月中旬～平成28年3月末まで

【事業内容】魅力的な自然景観や観光資源がありながら、現地までの道路事情などで、これまであまり観光客が訪れていない隠れた市内の観光スポットまで足を伸ばしていただくための新たな移動手段として考えております。また、市内の主要観光エリアである大歩危・祖谷地域での新たな観光の目玉として、国土交通省の補助金を活用して行われます。今後は、学識経験者や地元有識者、地元関係業者などによる検討委員会を組織し、その中で、今回の実証実験の結果をもとに、将来的な導入の可能性(レンタルサービスなど)を探ります。

(注) 超小型モビリティとは、環境性能に優れ、コンパクトで小回りが利く、地域の気軽な移動手段として期待される1～2人乗りの超小型電気自動車のことです。平成26年3月までに全国39か所の自治体で実証実験が行われ、既に兵庫県六甲山、奈良県明日香村などでは観光用として、レンタルサービスが行われています。

【お問い合わせ先】三好市役所観光課  
(☎72-7620)



▲奈良県明日香村での超小型モビリティの走行風景

### 次回開催 平成28年2月6日～3月21日 あわこい事業者を募集します



にし阿波の地域資源を活かした  
体験プログラムを作ってみませんか?

にし阿波の魅力ある資源を体験プログラムとして磨きあげ、期間限定で観光客や地域住民の皆さま方に提供を行う「あわこい」を2013年冬期より開催しています。

この期間限定のプログラムイベントは、別府八湯温泉博覧会(ハットウ・オンパク)で始まり全国に広まる「オンパク手法」を取り入れ実施しているもので、本年度は、来年2月6日から3月21日までの45日間を予定しています。

【募集締切】11月30日(月)まで



▲昨年のパンフレット

#### ※オンパク手法

地域のさまざまな資源(人・モノ)を地域発案型の体験プログラムとして一定期間内に集中して提供する地域おこしの新たなモデル。「オンパク」をきっかけに、新たな商品、サービス、ビジネスが産まれる例もあり、産業振興にも効果を発揮しています。

#### オンパクの仕組み

- ① 地域資源を体験プログラムとして観光客を呼ぶ仕組み。
- ② やってみたいことにチャレンジできる仕組み。
- ③ やりたい人をつなぎ、より魅力的なものを作る仕組み。
- ④ ないものねだりではなく、あるものみがきする仕組み。
- ⑤ 作ったプログラムをまとめて宣伝する仕組み。
- ⑥ オンパク手法を共有する地域間の「交流を促進する」仕組み。

◎お問い合わせ先  
三好市役所観光課あわこい担当  
(☎72-7620)